

機械

地域の安全・安心な暮らしを「機械」で支える

河川、道路の機能を発揮するために必要な機械設備・建設機械や災害対策用機械の整備と運用管理、建設事業の施工技術開発・支援を行い、安全で安心な住みよい地域社会の実現に貢献します。



↑湯沢町での除雪作業



技術

新潟国道事務所
防災情報課

中田 京之介 Kyonosuke Nakada 2022年度採用

インフラを支える機械の活躍

新潟県下越地域における、除雪機械や維持用車両などの建設機械の維持・管理を行うほか、道路排水設備や消融雪設備などの道路施設の新設・更新などの工事を発注し、その後の監督も担当しています。

北陸地域は降雪が多く、冬期における交通確保及び安全のために、特に消融雪設備や除雪機械が大きな役割を担っており、この機能が失われると道路交通に大きな支障をきたすため、機械担当の役割は大きいと感じています。

このような業務を通して地域の人々の暮らしを支えていると感じ、責任を持って仕事に取り組んでいます。

VOICES FROM THE FIELD

TYPICAL WORKS

技術開発

現場における技術的課題の解決や、作業の効率、安全な施工などに対応するため技術開発に取り組んでいます。開発した技術は、保有する建設機械や運用するためのシステムとして活用しています。



↑大型遠隔操縦式草刈機械

河川堤防法面で、転倒する可能性がある危険な除草作業を、機械の大型化と遠隔操縦することで作業の安全と効率化を図りました。



↑ロータリ除雪車

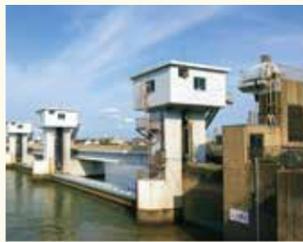


↑排水ポンプ車

建設機械の整備

河川、道路の維持管理に必要な建設機械を保有しています。

確実、効率的な運用を行うため、建設機械の配備計画を策定し、必要な装備の検討、適切な点検整備を行っています。



↑新潟大堰（新潟県新潟市）



↑宇奈月ダム（富山県黒部市）

機械設備の整備

河川、道路の土木構造物と一体となって機能を発揮する機械設備（河川・ダム用ゲート設備、消融雪設備等）の新設、維持管理、更新を行っています。

情報通信

社会インフラを支える情報通信ネットワークを形成

河川や道路等の安全で安心な利用のため、情報通信技術を用いたネットワークや情報システムの整備、運用、維持管理をします。

災害が発生した場合には、衛星通信車等の災害対策設備を駆使し、迅速な対応に寄与しています。



技術

金沢河川国道事務所
防災課 防災情報係長

佐野 友治 Tomoharu Sano 2016年度採用

電気通信設備は、拠点間を結ぶ無線通信設備・光ケーブルを活用した高速ネットワーク設備に代表される防災通信インフラに加え、様々な施設の電気設備、カーボンニュートラルに寄与するLED照明など、多岐にわたり、私はそれらの電気通信設備の整備や運用・維持管理を行っています。

なお現在は、令和6年度能登半島地震の対応も行っており、国土交通省が所有する防災通信設備を活用した映像やデータ伝送を担当しています。これらは被災された地方自治体への防災情報支援に活用されています。このように、私たちの業務が地域の人々の暮らしと安全安心を支えていることに意義を感じながら責任をもって業務を行っています。

VOICES FROM THE FIELD

TYPICAL WORKS



↑受変電設備の点検

安定的な電力供給

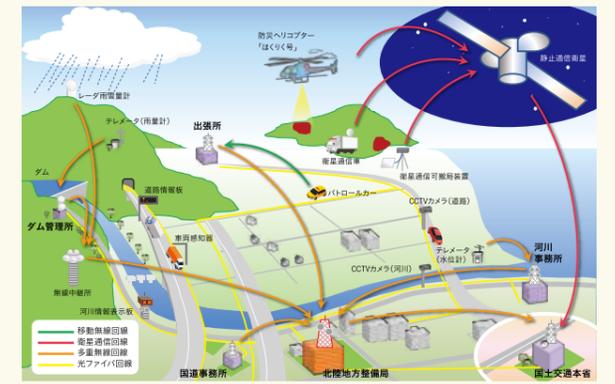
通信機器や河川、道路、ダム等の施設へ安定的に電気を供給するための設備や、車の安全な走行に欠かせないトンネルや橋の照明等を整備点検しています。



↑ヘリコプター映像伝送装置

迅速な災害対応

災害発生時には機動力のある通信システムで、災害現場等の情報を迅速に把握し、国土交通省内はもとより、地方自治体にも映像等を伝送し、的確な災害対応を可能にします。



的確な情報提供

河川、道路、ダム等を適切に管理するために、様々な機器を用いて情報収集を行っています。集められた情報は地域住民や施設利用者にも提供しています。



↑道路情報板



↑聖高原レーダ

強固な情報通信ネットワーク

全国の国土交通省の拠点や都道府県さらに防災関係機関を多重無線回線と光ファイバ回線でネットワーク化し、情報を確実に伝送する通信網を構築しています。